

生駒市文化財保護審議会会議録 要点筆記

1 開催日時 平成24年8月22日(水)午後2時～5時

2 開催場所 生駒市役所 401・402会議室

3 出席者 (委員) 今木会長 藤澤副会長 谷山委員 中谷委員 吉川委員
(事務局) 川口生涯学習部長 西野生涯学習課長 錦生涯学習課長補佐
伊田係員 城戸係員
展示設計業者

4 会議の公開・非公開 公開 傍聴人 なし

5 議事

会長あいさつ

会議録の承認

- (1) (仮称) 郷土資料館改修工事について
- (2) (仮称) 郷土資料館展示設計について
- (3) シンポジウム「生駒の歴史と文化をさぐるⅡ」について
- (4) その他

6 審議内容

- (1) (仮称) 郷土資料館改修工事について

事務局 進捗状況説明

全委員 質問なし

- (2) (仮称) 郷土資料館展示設計について

事務局 進捗状況説明

業者 展示設計等説明

事務局 資料館の名称説明

業者 提案ですが、中庭を通して見る建物の姿がこの施設の魅力だと考えており、大建設で設計されているように二重壁でふさいでしまうのはもったいないと考えています。例えば、可動パネルと遮光カーテンを設けることで、展示の内容によっては開放して、庭の緑をバックに写真や作品展示をすることも考えられます。建物自身も展示の一部として活用したら良いのではと考えています。又、庭の植樹も考えられるとのことでしたので、庭が見えるような設計の方が良いと思います提案させていただいています。

中谷委員 天窓の部分はそのままか。

業者 このままです。縁側には行けますので完全に閉じられた空間ではないですが、展示空間にもこの景観を取り入れられたらと思い、提案させていただいています。外壁側は、二重壁で覆わないといけないと思うのですが、展示室の中に展示準備室が無いので、この部屋の奥行を深くし、展示準備室にするのはどうかと思い、大建設計と調整させていただいています。また、古文書展示スペースは和室になっており、造作的なものを入れるよりは、このままできるだけ活用したいと思っています。

吉川委員 展示室の西側の史料庫について、ここは史料室であり、展示室として使わないということではなかったか。今の状況だと、展示室から西側に扉が通じているので必ず通ることになる。一貫してお願いしていたのが、収蔵庫を多くしてほしいということだった。古文書とトピック展示について、ひとつの引き出しにひとつの古文書が入っているということか。

業者 はい。そうです。

吉川委員 引き出し型の展示ケースであって、収蔵施設ではないということか。

業者 収蔵も含めているということです。

吉川委員 1つの引き出しにひとつの古文書であるから、普通の意味での収蔵ではない。

業者 トピックス展示になると思います。

吉川委員 やはり、史料庫が少ない。

業者 和室の飾り棚的なところも、どう活用するか考える必要があると思います。現在、和室の設えを残すという建築方針ですので、収蔵庫的な整備については検討が必要だと思います。また耐火性や調湿性のある内装材ではなく、収蔵庫としての機能もないので、重要な資料を集中的に収蔵することには課題があります。

吉川委員 収蔵庫も小さい。

業者 市の方と検討して設計を変更していくことも可能だと思っています。

事務局 古文書資料については、桐箆笥のような収納棚で対応したいと思っています。

吉川委員 中庭が見えるようにするかどうかは、企画展によってはいいと思う。しかし、今日の企画展の話では、大きな展示ケースの外側を閉じてパネル展示をするという考えであった。企画展は物を借りて来たり、パネル展示ではなく物を見せる企画展が多々あると思う。

業者 そういう時は、展示ケースを利用していただけたらと考えています。

吉川委員 この展示ケースは、すごく背が高い。

業者 この展示ケースは高さ3メートルほどで、軸物（長物）も展示できるように配慮したいと思っています。

吉川委員 仏像が入ることはないと思う。縦型のケースは、使い方が限られる。他に方法はないか。

- 業者 展示ケースの中身でいうと、展示台の高さを跳び箱のように可変式のものを作り、2段展示もできるようにしています。
- 吉川委員 展示台を置くと、企画展の展示物に合わせた展示台が必要になってきたり、常設展の展示台をどこに置くかの問題が出てくるのでは。
- 業者 常設用展示台は、展示室の二重壁の裏側を少し広げて収納できたらと考えています。もちろん展示の資料によっては、特別なものを作らなければならないこともあると思います。先ほど話した段をつけることによって、基本的な展示具で対応できるようにしたいと考えています。コスト的にも企画展のたびに費用をかけられないと思いますし、できるだけベーシックな展示ツールでカバーできるように提案できたらと考えています。
- 藤澤副会長 このケースは、横からしか入れないのか。
- 業者 基本的にはそうです。もちろん、正面を開くこともできるのですが、先ほどのように高いガラスの展示の場合、昔のケースは引き違いの扉で段差がついたりしており、気密性が低かったが、今はフラットスライドというガラスが面一になるような構造にしています。それも結構費用がかかるというのと、それをすると気密性が落ちるので、両側をふさぐようにして密着できるような扉を作ることによって、両側からの出入りで気密性を高めるということにつながります。6メートルのケースは、大きいようでそんなに展示できるわけではないですが、展示に差しさわりのない大きさです。展示する人の逃げ場もあります。
- 藤澤副会長 展示物に問題が少ないかもしれないが、置く場合展示物をまたがないといけない。
- 業者 このケースも奥行が900mmくらいありますので、人が30、40cmくらい前後する奥行は考えています。
- 吉川委員 ケース内の湿度調整はどう行うのか。
- 業者 基本的に調湿剤を使用します。紙の資料でしたら55%にしておいて、気密性が高ければカバーできると考えています。
- 吉川委員 調湿剤の費用はどれくらいかかるか。
- 業者 費用は、1㎡に2個くらいですので、この展示ケースは3個必要として、1年間で5、6万円かかると思います。
- 吉川委員 年間にひとつか。
- 業者 基本的には、1年間くらい有効期間がありリサイクル可能です。照明器具もLEDにすると7、8年使用可能で紫外線も熱も出ませんので、今回はLEDを採用したいと考えています。
- 吉川委員 展示ケースはひとつか。
- 業者 提案させていただいているのはエアタイトケースですが、コストが高いのでひとつです。

吉川委員 コスト面が大きいことは理解したが、中庭側に展示ケースを置かないことで、展示ケースが結果的に少なくなり、企画展をする場合に他から借りてきたり、今まで展示しなかったものをたくさん展示する場合にかなり制約があると感じる。その辺りは、どう考えているのか。

業者 費用面から言うと、この展示ケースが予算の3分の1を占めています。この展示ケースの中を企画展でも利用してもらえればと考えています。また今回、覗き込みケースがないので、将来的に必要なかと思っています。

吉川委員 この企画書を見て企画展が開催しにくいと感じた。写真展ならすぐできるだろうが、普段並べていないものを見てもらうときに制約が多いと思う。

業者 覗き込みケースが今回の予算内でカバーできませんでしたので、備品等で考えていただけたらとも思っています。メーカーの覗き込みケースも良いものが出てきています。

吉川委員 そうした場合、覗き込みを置く場所がない。

業者 二重壁の懐をひろげ、展示備品倉庫にするのは、可能だと考えています。倉庫を作る場合、覗き込みケースを収納できるだろうと考えています。

吉川委員 そうすると、展示室が狭くなるのでは。

業者 狭くはなりますが、展示準備室は必要だと思います。

吉川委員 室外機置き場はこんなにたくさんいるのか。収納スペースにできないのか。

西野課長 業者とも設計の段階で相談したのですが、必要だということでした。

吉川委員 ひとつにまとめられないのか。

業者 配管の長さ等、建物のそれぞれのエリアをカバーするため合理的に考えられて、2箇所にしたのではないかと思います。また美観的に配慮された設計になっていると思います。建築設計の担当者にはお伝えしますが、収納スペースへの変更は難しいと思います。

吉川委員 しかし収納スペースが少ない。郷土情報室も収納スペースにできないか。企画展をどうするかは大きな問題になってくる。今のままでは、写真の展示みたいなものがメインになってしまう。

業者 展示ケースを使った企画展もできると思います。

吉川委員 しかし、展示ケースは6mしかない。

業者 確かに6mは大きくはないので、すぐ一杯になるかもしれないです。

吉川委員 軸物はたくさんあるか。

事務局 貸し出ししていただけるように、お願いしているところです。

今木会長 中庭を展示スペースとして活用できないか。例えば、市内の石造物のレプリカ、模造などの展示は考えられないか。その場合、後で搬入することは可能か。

業者 要望があれば搬入ルートや方法も検討していきたいと思います。

今木会長 活用できるところは活用していきたい。

業者 中庭の積極的な展示活用について検討していきたいと思います。

業者との質疑応答終了

吉川委員 収蔵スペースが少ないという点ですが、資料閲覧室と郷土情報室は今の段階でそれぞれどういう風な使い方を考えているのか。

事務局 郷土情報室は生駒市教育委員会で発行しました書籍や報告書、生駒市関係の資料を書架に置いて見ていただく部屋です。それから、登録有形文化財の町役場庁舎を、奈良県教育委員会からもクローズアップして展示パネルにするよう話も出ていますので、写真展示と昔の瓦や職員配置板などの展示を考えています。資料閲覧室は、特別資料やパソコンを置いての検索閲覧ができるような場所を設けたいと考えています。生駒新聞もデジタル・データ化できましたので見ていただけたらと思っています。

吉川委員 提案だが、これらをひとつの部屋にできないか。町役場庁舎が大事だという話は後から出てきた話であって、もともと資料館を作るというのは、収蔵と展示がメインであった。建物については、パネルで廊下に展示したら良いのであって、ひとつの部屋を使うことはない。資料閲覧室の周りの壁にずっと書架を並べれば良いことであって、どちらかの部屋は展示パネルや覗き込みケース等さまざまな物を収納するのに置いておいたほうがよい。

事務局 どちらもそんなに大きい部屋ではありませんので、どこまでできるか分かりませんが、確認して検討していきたいと思います。

吉川委員 先ほどのプレゼンを見て、二重壁のところを広げるとなると狭い展示室がますます狭くなってしまって、見栄えがしない。

今木会長 部門別打合せ会は、いつ頃か。

事務局 9月10月くらいで考えています。エアタイトケースの位置ですが、北側壁の真ん中辺りの設置で決めておいてよろしいでしょうか。

吉川委員 これは、高価なケースか。もう少し安いケースを2台にできないか。そうすれば、覗き込みケースもいらぬ。

事務局 ケースについては、こちらからの応募条件によって、提案していただいたものになります。

吉川委員 今の業者が、資料館の指定管理者になるのか。

事務局 それはまた、ゼロから決めます。

(3) シンポジウム「生駒の歴史と文化をさぐるⅡ」について

事務局 説明

谷山委員 資料館開館にともなって、今年度と来年度と2回シンポジウムという予定だが、前回は、古代・中世・近世の3本立てという体制をとったので、今回は、展示に関わって民俗関係、来年は生駒山と高僧たちの歴史関係であると2年分の収まりが良いような気がする。

事務局 今年、場所が南コミュニティセンターになりましたので、南側の例であげると、仏教関係なら行基中心、あとは往馬大社、乙田の浄瑠璃などになるかと思います。

中谷委員 発掘成果は展示するのか。

事務局 はい。毎年8月に、ワクワクドキ土器！？はっくつこまというイベントをさせていただいていたのですが、今年、工事の関係で夏休み中にできませんでしたので、シンポジウムのときに一緒に展示させてもらおうかと考えています。

今木会長 場所的に人が集まりにくいと思う。北側に住んでいる方も生駒駅周辺には抵抗なく来られるが、南側にはなかなか来られないので、場所的にデメリットがあると思う。

谷山委員 日程について、審議会委員のメンバーの日程をふまえて決めたと思うが、先ほど話した方法ですら、日程を変えてコミセンすることも可能かと思う。

川口部長 もう一度、コミセン・たけまるホールでできるように、日程調整させていただいてよろしいでしょうか。

藤澤副会長 先に内容を決める必要がある。このまま予定通りするなら、谷山委員と吉川委員と私で話すのが良いと思うが、1人1題にするのか、2題にするのか。

吉川委員 しかし、前回も同じことを話しているので、新鮮味がない。

事務局 もし、12月ごろに日程変更したらどうでしょうか。

今木会長 大きなタイトルが、「生駒歴史文化セミナー」となっているので、45分を2題にして1題は歴史をテーマにし、もう1題は民俗をテーマにして対談したらどうか。

事務局 歴史と民俗で今年対談してしまうと、来年度のテーマがなくなってしまうと思います。

藤澤副会長 来年度は資料館完成を記念した形で行うのか。

事務局 はい。記念行事として、開催したいと考えています。

谷山委員 今年と来年の共通の柱・まとまりが必要だ。

中谷委員 去年の話に加えて、古代・中世・近世の歴史の話をするのはどうか。

藤澤副会長 1題なら、行基しかない。

中谷委員 行基の功績はどうか。

吉川委員 生駒に関わるものが少ない。

藤澤副会長 生駒に関わるものは、中世のほうが多い。

吉川委員 提案だが、来年資料館の開館を祝って大きなシンポジウムを開催するなら、来年のテーマを決めてから、今年のテーマを決めてはどうか。「いのりと生駒山」のテーマは、歴史でも民俗でもやりやすいと思うし、資料館にもぴったりなので、来年に残しておくのはどうか。

事務局 来年度の資料館開館のプレ行事として、シンポジウムの大きなテーマを「いのりと生駒山」にさせていただいて、今年はどうさせていただきましょう。前回をつないでいくと、近世にのぼる民俗事例や行事、民俗資料・浄瑠璃資料を見ていただくようになるので、中谷先生に講演していただくかたちになるかと思うのですが。

今木会長 話が変わるが、時間の割り振りは1題60分なら対談90分、2題45分なら対談60分になるということか。

事務局 はい。前回の対談は30分と非常に短かったためです。

谷山委員 対談90分は、厳しい。

事務局 そうすると、60分対談していただいて、20～30分を質問に答えていただく時間と考えていただけたらと思います。もしくは、講演を2題45分していただく形になります。

中谷委員 歴史と文化に非常にこだわっているが、芸能の話はある一定の話になってしまうし、幕末時代の背景が分からない。

今木会長 一つの集落で、講演されることもある。

中谷委員 そういう講演をすると、対談の焦点は、芸能ですか。

事務局 人々のくらしや文化になると思います。

西野課長 ひとつの方法としてですが、来年度にメインのシンポジウムをするということで今年は展示の解説的な対談のみにして、講演は見送る形でも良いと思います。

谷山委員 往馬大社は文化財にも指定されているので、取り上げて良いと思う。浦西先生に話してもらおうのはどうか。

事務局 浦西先生には去年、歴史文化セミナーで同じ時期に資料館の話も含めて講演していただいています。

中谷委員 文化財指定を受けた高山八幡宮宮座行事と、往馬大社の火祭りはどうか。

事務局 日程は変えられます。講演の浄瑠璃のほうは中谷先生でよろしいでしょうか。

中谷委員 45分ずつで、北の高山八幡宮宮座行事と生駒の民俗のくらしについては今木先生で、南の往馬大社の行事と浄瑠璃については、私が講演するのでどうか。

吉川委員 来年のシンポジウムは、資料館開館前か。

事務局 資料館開館前か同時になると思います。

吉川委員 資料館開館と同時に生駒小学校の体育館で開けないか。そのまま、資料館を見に行け

る。

事務局 検討してみます。来年は「祈りと生駒山」ということですので、仏教の行基・叡尊・忍性・湛海・公慶の流れで、よろしいでしょうか。また、日程を11月11日から12月24日に変えさせていただいて、場所も南コミュニティセンターからセイセイビルの文化ホールに変えさせていただきますので、よろしくお願いいたします。テーマは、「生駒の芸能と祭礼」で高山八幡宮宮座行事と往馬大社の火祭りと浄瑠璃資料と対談ということでよろしいでしょうか。

中谷委員 司会は浦西先生で、対談を行うのか。講演は45分ずつで2題、対談は60分ということか。

事務局 はい、そうです。展示の打合せ会、分科会もよろしくお願いいたします。

(4)その他

事務局 吹田にある国立民俗学博物館が農耕と稲作コーナーのリニューアルをされるということで、生駒で収蔵してある稲作関係の資料のうちの約50点ほど寄贈いただけないかというご依頼がありました。このことに関して、皆様方のご意見を伺いたいと思っています。

吉川委員 具体的にはどんなものか。

事務局 鍬・鋤・馬鍬・唐鋤・牛の鞍・除草機などです。

今木会長 生駒でも山間地と平野部では農具が違う。いつ見に来るのか。

事務局 28日に見に来られます。

吉川委員 寄贈しても生駒のコレクションは困らないのか。

事務局 1点しかないものに関しては、寄贈はどうかと思っています。

今木委員 展示期間中だけ、貸すのではないのか。

事務局 いえ、寄贈です。

谷山委員 資料館で民具も展示するという話が出ている中、たくさん良い物を寄贈してしまうと困るのでは。

今木会長 寄贈してしまうと、生駒で貸出してほしいときに貸してもらえないこともあるのでは。文章で貸出等をしっかり決めておかないと。

事務局 形としては、いつでも貸してもらえる形をとるということでしょうか。また、鍬や除草機など、同じような物が何台もあるものは、寄贈してかまわないが、珍しいものは置いておくという形でいいでしょうか。

吉川委員 置き場所が少なくても、そのほうが良い。

今木会長 逆に珍しいものに目が行くだろう。

谷山委員 民具類はちゃんと整理できているのか。

事務局 寄贈していただいた方の住所で分けています。28日に来られて、選定されるということなので、もう一度それを先生方に確認していただけたらと思います。11月以降の審議会で指定管理の各種業務について、いろいろご意見を賜りたいと思っております。又、展示設計の進捗もご意見を伺いたいと思っております。

今木会長 閉会あいさつ

閉 会

以上